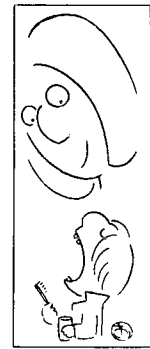


健康づくり (8)

六月四日～六月十日 歯の衛生週間です。 どうして「むし歯」になるのでしょうか。 むし歯を作る細菌は口腔常在菌(ミュータンス)といつて、ある決まった数の範囲では人間に対しては良い働きをします。ところが口の中を汚したままにしておくとどんどん増殖し、歯にペタペタとくっつく物質(デキストラン)を作り出します。そして歯の表面にくっつき酸を作つて歯をとかし、歯にあなをあげ、「むし歯」ができるのです。

本村の幼児のむし歯保有状況は表のようになっていました。一人当りの平均むし歯本数は、二才児で一・三本が三才になると七本と急増しています。 むし歯予防のためには、離乳食で甘い物好きにさせない。おやつは時間を決めて食べさせる等注意することが大切です。そして、なによりも大切なのは口の中をきれいにしておくことです。子供は親の言う事をきかないで、親の行動をマネします。両親からすすんで食後のうがい、はみがきを実施することが、よい習慣づけにつながります。



5月30日は消費者の日です。

5月30日は消費者保護基本法が制定された日です。つまりこの日を消費者の利益を守り、豊かな社会を築くための意義ある日にしようとして、昭和53年からこの日を「消費者の日」と定めました。

あなとの4つの権利と1つの役割

- (1) 安全を求める権利 健康もしくは生命に危険な商品がります。
- (2) 知る権利 ヤサービスから守られる権利。事実上反した宣伝や広告、表示等から守られ、よい商品を買っために必要な事実を知る権利
- (3) 選ぶ権利 できるだけ多くの種類の商品やサービスを選び、納得のいく価格で買えるように保証される権利
- (4) 意見が反映される権利 政府が政策を立案するに当たって、消費者の利益が十分考えられた上で、また行政当局においては公正かつ迅速に処理されること保証される権利

我が国の「消費者保護法」は、このケネディの「4つの権利」の影

響を強く受けています。私達消費者は、この権利に目ざめるとともに、自ら進んで消費生活に必要な知識を身に付け、合理的な消費行動をとるよう努力する役割を担っているのです。

43年の「カネミ油中毒事件」、44年の「チクロ問題」、「欠陥車問題」、45年の「欠陥電子レンジ事件」、「カラーテレビの二重価格問題」、46年の「コカコーラ破産事件」、47年の「再販撤廃運動」、48年の「A.P.2問題」とい、昭和35年に「せせせせ事件」といのがありました。これは、ひとりの主婦によって持ち込まれた苦情がきっかけで、牛じら肉や馬肉を使った肉詰めが牛缶と表示されて売られていることがわかった事

育苗品評会

月潟生産組合が 連続一位に

村農業振興協議会の主催で五月二日、機械植え箱育苗の品評会が開催されました。 出品は、各部落から選出された中苗四点、稚苗十六点合計二十点あり、これをそれぞれ巡回して審査が行なわれました。 育苗期間全般を通じてやや低温気味の気象状況であり、稚苗は茎の太りが緩慢であり、中苗は過保護からくる腰高な苗が多く見られたようです。 育苗技術のレベルは稚苗は低温で苦労したが前年に比べると向上しており特に播種量の適正化はかられているもの程度は向上していましたが、又中苗は全般的に厚播のため三葉目の出かたが遅れており中苗方式稚苗植になってしまふのではないかとと思われるものが多かつたようです。 成績は次の通りでした。(敬称略)

- 一位 月潟生産組合 田中正弘 吉川 吉雄
 二位 白倉 弥一 田中 武雄
 三位 小林 一夫・高橋多三郎 努力賞 曾山 清英

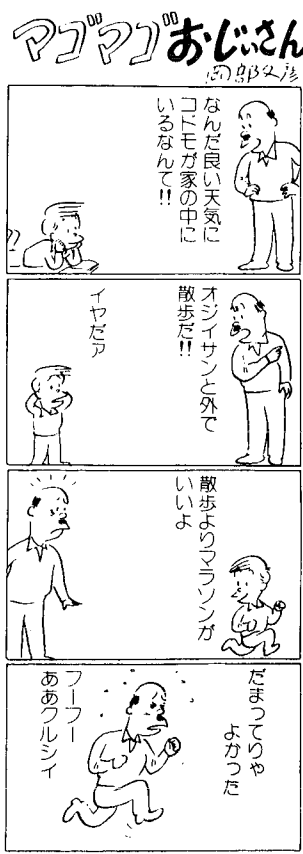
転作の定着化を目指して 二年目スタート

昨年より初まった水田利用再編対策(転作等)も本年は二年目、県より配分された三十二・九haをこの程、各農業者に配分いたしました。配分を受けた数値は他市町村における未達成面積分あるいは新規開田、改廃等により調整が行なわれ、減額補正された。 各農業者も同様に配分された。 事前売渡した。 申し渡した。

(目標面積並びに事前売渡申込限度数量)

区分	昭和54年	昭和53年	比較	
転作等目標面積	32.9ha	34.0ha	△1.1ha	
事前売渡	うるち米	36,993	37,539	△546
	もち米	2,840	2,177	663
申込限度				
数量	計 39,833	39,716	117	

込限度数量につきましては後日、うるち米、もち米を別建てに配分いたします。転作の実施にあたっては特段のご協力をお願い申し上げます。



棟上げの御幣高々春の風 流水
 都会における建前は知らないが、地方には未だ棟上げの儀式は根強く残っている。骨組みされた屋根形の半ば整った上に御幣を立て五色の轆をはためかせる。それが春の風であることにより一層新鮮さを感じさせる。

● 思いつき石投げて見し春の海 秀穂
 春の海という季題を尾五に据えたことで、若き日のありあまるエネルギーを一応出すことに成功している。

● 片減りの赤い袴の下駄雁渡し 詩子
 この句は、片減りの下駄の発見にポイントがあり、尾五に据えた「雁渡し」の季語もどっしり安定している。

● 十坪の子等の砂場も陽炎うて 和子
 ● 困い解く単身赴任をきめし日に 敬子
 ● 丁寧なあいさつかわし春惜む 蒼穹
 ● 剪定の音大空へ拡がれり 里代子
 ● 立春の幸を詰込む旅靴 靖子
 ● 水仙を持たせて園児送り出す 永代子
 ● 鉢植えの土筆も一役出納課 富沙代
 ● 冬構とられ地蔵へ日が届く 小灯
 ● 野仏の掌に一つあり桜餅 富沙代
 ● 排水溝下萌の根の深かりき 可津明
 ● かたまりて昏れる一村雪あかり 喜美
 ● 春の窓雀と語るギブスの身 美

子供の事故防止

- 危険な遊び場の点検と防護措置を講じよう。
- 火遊びを防ぐために、子供の目のふれるところにマッチやライターを置かないように
- 線路での遊びや道路での遊び等危険な場所の遊びをみたら一声注意しよう。
- 水死事故を防ぐため、危険なところにはサクヤフタをしておこう。
- 火遊びを防ぐために、子供の目のふれるところにマッチやライターを置かないように



身体障害者の方へ 青い鳥はがきを贈呈

郵政省は、身体障害者福祉強調運動にちなみ、特別な意匠(はがきの切手に相当する部分)が青い鳥(の二十円郵便はがき)を四月二十日から発売しております。 また、身体障害者(一級及び二級)で四月一日現在、満六才以上)が水が恋しくなる六月、毎年このころになりすと、悲惨な子供の水の事故やちよつとのいたずらが大きな事故につながる等々のケースが目立って増えます。保護者は子供の身になって安全対策を講じましょう。

● 水死事故を防ぐため、危険なところにはサクヤフタをしておこう。

● 火遊びを防ぐために、子供の目のふれるところにマッチやライターを置かないように

● 線路での遊びや道路での遊び等危険な場所の遊びをみたら一声注意しよう。

● 危険な遊び場の点検と防護措置を講じよう。

消費者の日記念講演会の催し 日、五月三十日 午後一時三十分～三時三十分 新潟県民会館小ホール 講師 早稲田大学教授 宇野 政雄氏 入場料 無料

※満員の節はお断わりすることもあります。